

『歌川広重展』



歌川広重
「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」

大判錦絵揃物の内
安政4年(1857)
当館蔵(平成14年度購入)

4月13日から始まった開館5周年記念特別企画展覧会「歌川広重展 中山道広重美術館5年間の歩み」が、第2期に入りました。平成13年の開館以来、収集してきた広重作品を、ほぼすべてご覧いただくというこの展覧会。たくさんの作品を見ていただくために、各期ごとに作品を入れ替えて展示しています。第1期にご来館いただいた方も、ぜひもう一度お越しください。

第2期の目玉は、この「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」(図参照)。「あ、どこかで見たことがある」とお思いになる方が多いことでしょう。教科書にも掲載されている浮世絵版画の代表的な作品です。降り始めた夕立に雨宿りをしに駆けていく人々を、空の上から見下ろして描いた図。広重作品に見られる特徴の一つは『自然の営為と人間との関わり』で、例えば雪の中を、あるいは^{こうこう}皓々と照る月明かりの下を歩く人々の姿が、優しい視線をもって描かれます。本図もそうした特徴を持つ作品。

ちなみに「名所江戸百景」は、広重晩年の代表作で、また多くの風景画を残した広重の、最も大規模なシリーズです。目録を含む全120枚から成ります。さらに言えば、これほど大規模なシリーズは、これ以前も以後も存在せず、どれだけこの「名所江戸百景」に人気があったかを示す証拠となるでしょう。

会期: 4月13日(木) ~ 7月23日(日)

第2期: 5月16日(火) ~ 6月18日(日)

第3期: 6月20日(火) ~ 7月23日(日)

毎週月曜日(祝日を除く) 祝日の翌日(土日祝日を除く) 休館

会期終了後、7月24日(月) ~ 26日(水)まで展示替え休館します。

次号は6月15日号
発行日は6月15日(木)です

広報えな No.37

2006年(平成18年)6月1日発行

発行 恵那市役所/編集 まちづくり推進課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp

編集後記
6月となり、梅雨の時期を迎えました。連日テレビやラジオのニュースでも「梅雨入り」という言葉をよく耳にします。さて、「梅」に「雨」と表現されるこの雨の季節、なにか不思議な感じがしてその語源を調べたところ、この時期は湿度が高く(カビ)が生えやすいことから「黴雨(ばいりゅう)」と呼ばれ、これが同じ音の「梅雨」に転じたという説や、梅の実が熟すころであるからという説、「梅」の字が当てられたという説などがあるそうです。語源にもあるとおり、ジメジメとして、雨の多い日が続きますが、この時期のアジサイやホタルの撮影などでカメラの腕を磨き、夏を待ちたいと思います。 宮